



病児保育所おひさまルームは山形済生病院に併設しています。
感染予防対策の情報を発信していきます。



テーマ：乳児・小児に医師から処方された粉薬を飲ませる良い方法

子どもの中には味覚が鋭敏な子もいて薬の味を嫌がることや、うまく飲み込めないことがよくありますよね。それだけでなく病気で機嫌が悪い子どもに薬を飲ませるのは大変だと思いますが、薬は医師の指示通りにきちんと飲んで始めて効果が出るものです。飲ませるためのちょっとしたコツや工夫を知っておきましょう。

粉薬は、服用直前に少量の水や湯ざましを加えて混ぜて、スプーンやスポイトで口の中に入れて後に水、湯ざましなどを飲ませます。話しかけながら飲ませて、上手に飲めたらほめてあげることで子どもは嬉しい思い出として記憶に残ります。

特に赤ちゃんは、粉薬の「苦味」「におい」「ざらつき」等が原因で、くすりを嫌がる場合があります。最近では味やにおいを工夫して飲みやすくしている小児用製剤もありますが、どうしても飲まない場合には、次のような方法があります。個々のお薬に適した方法は薬剤師に相談してください。

- ・粉薬に少量の水を加え、練ってペースト状とし、口の中の頬の内側や上あごに塗りつけ、水、湯ざましなどを飲ませます。舌先は苦味を強く感じるのを避けましょう。
- ・粉薬の味を隠すため、赤ちゃんが好む飲食物（※注意点について下記参照してください）を少量に混ぜて一緒に飲ませます。
- ・冷たいと味覚が鈍るため、粉薬をアイスクリームやシャーベットなどに包み込むようにして飲ませます。

<薬を飲食物に混ぜて飲ませる時の注意点>

- ・ミルクやおかゆなど主食に混ぜることは避けてください。薬の味のせいで主食が嫌いになることを避けるためです。
- ・酸性度の強い飲食物（オレンジジュース、スポーツドリンク、乳酸菌飲料、ヨーグルト等）に混ぜることは避けてください。薬のコーティングがはがれ、苦味が出たり、効果が弱くなる薬があります。
- ・薬を飲食物に混ぜたまま長時間放置すると苦味が増したり、変質したりすることがありますので、飲ませる直前に混ぜてください。

以上のような工夫で、薬を飲むのが少しでも楽になればと思います。お子様の様子を見ながら、無理せず優しく対応してあげてください。

いっしょにうたいましょう

おはながわらった

1. おはながわらった
おはながわらった
おはながわらった
おはながわらった
みんなわらった
いちどにわらった
2. おはながわらった
おはながわらった
おはながわらった
おはながわらった
みんなわらった
げんきにわらった



山形済生病院 病児保育所

おひさま ルーム



〒990-0818 山形市沖町79番3
TEL・FAX: 023-674-8856
HP: <http://www.ameria.or>

開設日: 月曜日から金曜日
(祝日・年末年始除く)
8:30~17:30

対象児: 1歳から小学校6年生
配置職員: 看護師・保育士

